



消化器外科部長 尾嶋 仁

COVID-19と共存する生活が始まり、オミクロン株による第6波もピークを越えたようですが変異株の置き換わりでまだ下げきらず第7波に継続しそうな状態です。身近な人や当センタースタッフにも感染が広がり医療逼迫、通常診療の制限、COVID-19抗原検査による自己管理、リモート会議等日常生活が180° 変わりました。

癌治療の遅延は命に関わる可能性がありCOVID-19蔓延下でも通常通り行われる必要があります。手術は通常通り、初診から1ヶ月以内に行っています。抗癌剤治療も従来通り行っています。

病院に行くのを控えていた人も、症状があれば病院受診を躊躇無く行ってください。症状がなくても検診の重要性、必要性を再確認して頂きたいと思います。

今回の外科通信では、ロボット支援手術（ダビンチ）の現状、ロボット支援下手術の利点、新任医師の紹介、現在行われている臨床試験を紹介したいと思います。

1. 手術支援ロボット ダビンチ手術の現状

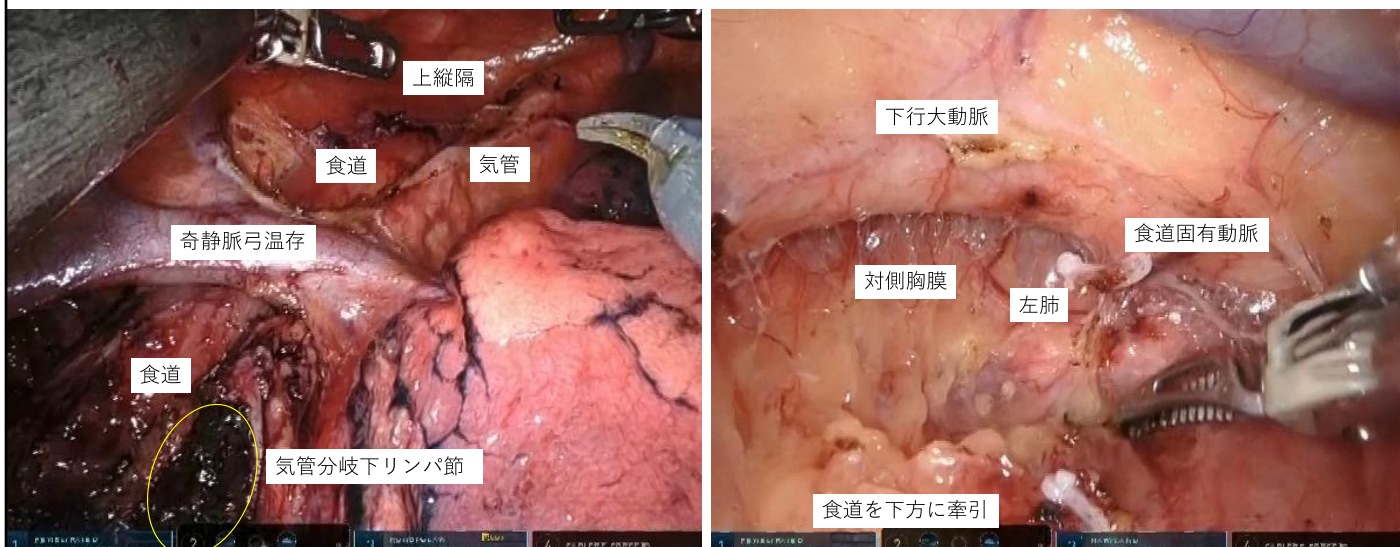
2022年3月までの実績は、食道癌:46例、胃癌:48例、直腸癌:143例です。食道癌、直腸癌ではダビンチ手術指導者のプロクター取得。現在、胃癌でもプロクター申請中です。直腸癌ダビンチ術者は2名で行なっています。胃癌、直腸癌で術者増員予定です。食道癌では100%、直腸癌では95%以上、胃癌手術では、全体の53%、ロボット/鏡視下手術で行っています。今後胃癌に対して適応拡大しロボット手術率を増やしていきたいと思えます。

2022年4月より保険収載予定術式の点数が確定し下記3点の内容が追加されました。

- ① 胃癌の加算。
- ② 直腸癌に関連した技術料が追加。側方郭清加算。
- ③ 結腸がんに対して腹腔鏡手術と同点数が付与。

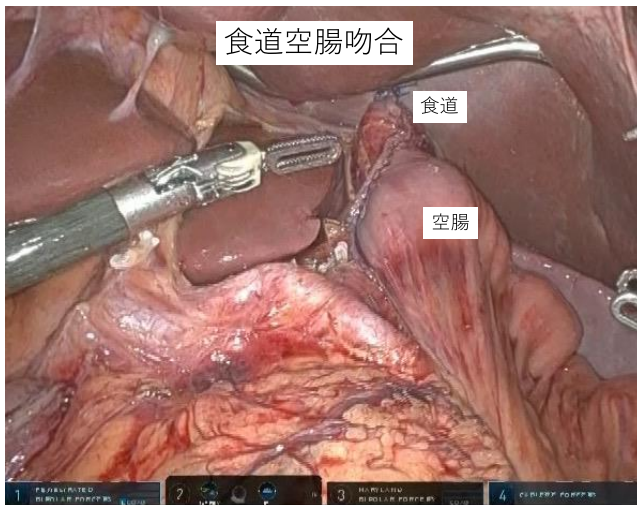
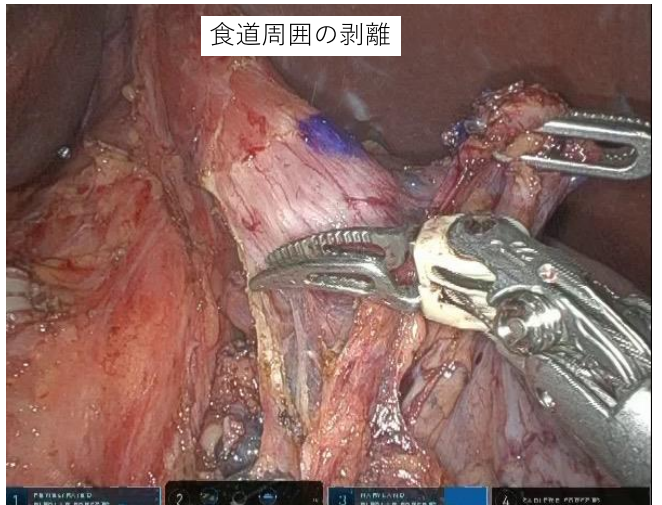
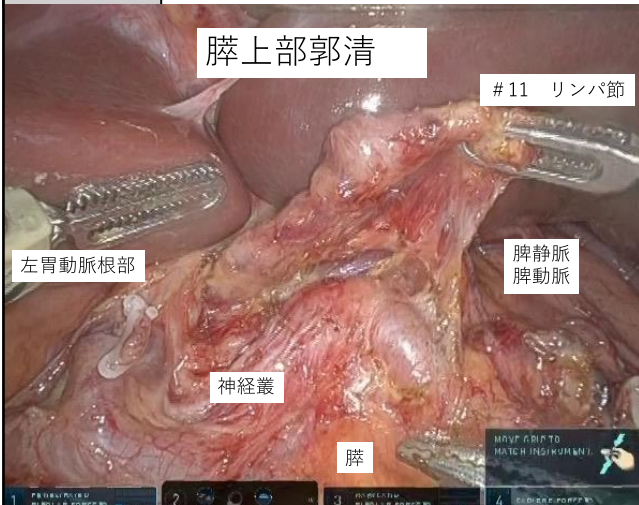
2. ロボット支援下手術症例

食道癌



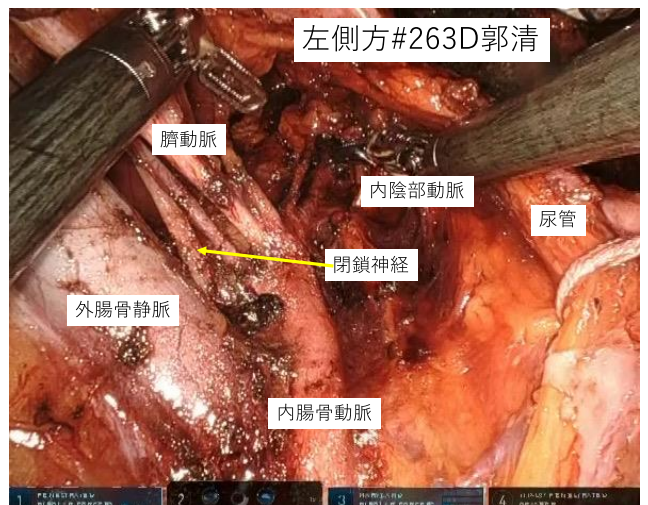
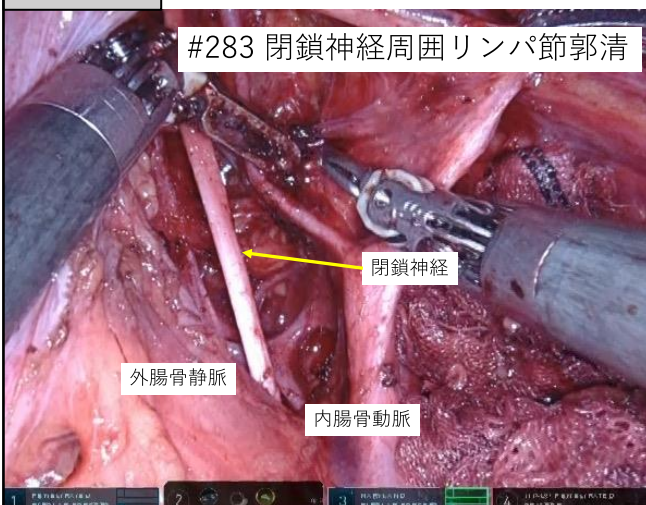
カメラのぶれ、手ぶれが無く安定した操作が可能です。神経周囲のリンパ節郭清や大動脈周囲の操作が安全に行えます。最近では奇静脈弓を切離しないで食道離断も最後に行い食道を牽引してリンパ節郭清を行っています。#106tbLの郭清が容易になりました。

胃癌



拡大視効果、3Dハイビジョン画像で、動脈周囲の神経叢も明瞭に確認でき、脂肪組織内の脾も明瞭に確認できるため脾損傷、脾瘻などの合併症も軽減できます。リンパ節郭清が安全に行え、安全に体腔内吻合が可能です。

直腸癌



側方リンパ節郭清も積極的に行っています。
大腸癌研究会プロジェクト研究「直腸癌治療における側方郭清に関する前向き 観察研究」(PLANET study) に参加しています。

— ロボット支援下手術の利点 —

- ◇3Dハイビジョン画像による安定した視野確保
- ◇手ぶれ防止機能で細かい操作が安全に可能
- ◇術者の負担軽減

3. スタッフ紹介



**消化器外科部長
尾嶋 仁**

専門: 上部・下部消化管
ロボット手術プロクター
食道・直腸
趣味: 読書、ドライブ



持田 泰

専門: 肝胆膵
趣味: バトミントン



鈴木 雅貴

専門: 上部消化管
趣味: スノーボード
スポーツ観戦



山田 和之介

専門: 下部消化管
ダビンチ手術
趣味: スカッシュ



高田 考大

専門: 下部消化管
趣味: 車、バイク



加藤 隆二

専門: 下部消化管
趣味: 釣り

新任医師

榎田 泰明

前橋市生まれ、趣味はスキー・サイクリング・ラーメン店巡りです。群馬県内において消化管がんの手術(特に腹腔鏡手術)・化学療法、腹部救急疾患を診療し、研鑽を積んで参りました。胃癌に対しては、内視鏡外科技術認定医として日本内視鏡外科学会より認定され、安全な腹腔鏡手術を提供するとともに後進の指導を行っています。また、胃癌術後の体重/筋肉量減少に対する工夫(噴門側胃切除の導入)、合併症発症率の低下を目的とした術式の導入、術後疼痛の軽減などに取り組んで参りました。胃粘膜下腫瘍に対しては外科医・内科医が協力して手術を行うLECS(Laparoscopy Endoscopy collaboration surgery)を行い、胃噴門部の粘膜下腫瘍に対して、胃を温存できるような手術を行ってきました。

急性期病院での勤務以外には、山間部(群馬県上野村)におけるへき地医療や理化学研究所や群馬大学における癌に関連する遺伝子変異/遺伝子多型の研究を行ってきました。

当センターで積極的に行っているロボット支援手術(ダビンチ)と、自身の経験を生かし、患者さんに優しいがん医療を提供できるようにしたいと思います。よろしく願い申し上げます。

今泉 潤

千葉県で生まれ育ち、趣味はカメラで、被写体は深山幽谷からコンクリートジャングルまで、それぞれの風土を学び慣れ親しみながら撮る心象風景が好きです。

筑波大学卒業後5年間を竹田総合病院(福島県会津若松市)で研修、その後の5年間を国立がん研究センター中央病院(東京都中央区)で研鑽を積んで参りました。下部消化管を担当致します。治療に係る多職種連携を大切にしながら、患者さん一人ひとりの心情に寄り添った医療を心掛けます。



臨床試験対象の患者さんを紹介して下さい！

〈未治療の患者さんが対象です〉

- ・再発、切除不能食道癌 (stage IV) の患者さん。
- ・食道扁平上皮癌 (stage II-III) で、根治的放射線化学療法対象の患者さん。
- ・下部直腸癌 pT1(sm)で内視鏡切除後追加切除の必要な患者さん。
- ・直腸癌局所再発の患者さん(遠隔転移なし)。

【食道癌】

KUNLUN 試験

局所進行切除不能食道扁平上皮癌患者を対象とした、デュルバルマブと根治的放射線化学療法との同時併用を検討する第Ⅲ相ランダム化二重盲検プラセボ対照国際共同多施設共同試験

食道癌関連 phase 1a study (再発、切除不能食道癌 stage IV)

【大腸癌】

JCOG2006

切除可能な局所高度進行結腸癌に対する術前mFOLFOX6療法と術前FOLFOXIRI療法のランダム化第Ⅱ相試験

JCOG2014

標準化学療法に不応・不耐な切除不能進行再発大腸癌患者を対象としたTrifluridine/Tipiracil単剤療法とBi-weekly Trifluridine/Tipiracil+Bevacizumab併用療法のランダム化比較第Ⅲ相試験

JCOG1805

再発リスク因子を有するStage II大腸癌に対する術後補助化学療法の有用性に関するランダム化第Ⅲ相比較試験

JCOG1503

Stage III治癒切除大腸癌に対する術後補助療法としてのアスピリンの有用性を検証する二重盲検ランダム化比較試験

JCOG1612

局所切除後の垂直断端陰性かつ高リスク下部直腸粘膜下層浸潤癌(pT1 癌)に対するカペシタビン併用放射線療法の単群検証的試験

JCOG1801

直腸癌局所再発に対する術前放射線療法の意義に関するランダム化比較第Ⅲ相試験

JCOG1609 INT. DREAM試験

JCOGとEORTCの国際共同研究
大腸癌 肝転移に対して腫瘍遺残の有無を判断できる術前画像診断の開発

大腸癌研究会プロジェクト研究

「直腸癌治療における側方郭清に関する前向き観察研究」(PLANET study)

CIRCULATE試験

遺伝子検査によるスクリーニング
遺伝子異常情報・臨床情報を大規模データベース化

GALAXY試験

根治的外科治療可能な結腸・直腸がんを対象としたリキッドバイオプシーによるスクリーニング研究

【お問い合わせ先】

群馬県立がんセンター 消化器外科 尾嶋 仁
住所: 〒373-8550 群馬県太田市高林西町617-1 TEL:0276-38-0771(代表) FAX:0276-38-0614

・診療予約等につきましては当院ホームページをご覧ください

URL: <http://www.gunma-cc.jp>

TEL: 0276-38-0771(代)

予約専用電話: 0276-38-0762

